

物価高騰を超える老齢基礎年金等の改善を求める請願書

【請願事項】

物価の高騰を超える老齢基礎年金等の支給額の改善を行うこと。

【請願趣旨】

物価は引き続き大幅な値上がりとなっています。2024 年の消費者物価指数は 2.7%でした。しかし、2025 年度の年金額は 1.9%とわずかな引き上げにとどまり、物価の高騰から見れば年金額は実質 0.8%の削減となります。2024 年度改定も消費者物価指数が 3.2%にもかかわらず、年金額の改定は 2.7%となり実質 0.5%の削減となりました。このような相次ぐ年金削減で高齢者の生活に深刻な影響を及ぼしています。

昨年は米が不足して大混乱となりました。政府の備蓄米の放出や新米の出回りなどで一息ついているものの、価格は 1.5 から 2 倍以上の高値が続いています。このような引き続く物価の高騰で高齢者の生活は極めて厳しいものになっています。高齢者の命と暮らしを守るために、物価の高騰を超える年金の引き上げは喫緊の課題です。

また、相次ぐ年金削減等により高齢者の生活保護受給者が増えてきています。厚労省の月次被保護者調査 2024 年 10 月によると生活保護受給者による高齢者の割合は 55.1%にもなっています。老後の保障は生活保護ではなく年金制度でなければなりません。若者も高齢者も安心・信頼の年金制度の確立が急がれます。

年金はほとんどが消費に回ります。厚労省の資料によると大阪府民の年金受給額は約 3 兆 4 千億円（市町村別給付状況表 2025 年 3 月末、共済年金除く）となっています。2025 年度は 0.8%の削減だったために府民全体で約 270 億円の収入減となりました。この分が消費されず地域経済を後退させることとなります。

高齢者を始め年金受給者の命と暮らし、営業を守るとともに、地域経済を活性化させ、地方自治体の財政健全化のために物価の高騰を超える年金改定が必要です。

ついては、貴議会において地方自治法 99 条に基づき下記事項に関わる意見書を総理大臣はじめ関係大臣に提出されるよう請願します。

以 上

令和 7 年 11 月 25 日

松原市議会議長

河内 徹 殿

紹介議員

植松 栄次

野口真知子

(請願者)

[Redacted text block]